100/	井工業高等	等專門学校	開講年度	令和06年度(授業	科目	 解析 I			
	· 位情報		,		/			-			
科目番号		0013			科目区分	T	般 / 必修	<u> </u>			
授業形態		講義		単位の種別と単		<u></u>					
開設学科	¥	機械工学	—————————————————————————————————————	対象学年	2	1,121,12					
開設期		通年			週時間数	4					
教科書/勃	教材	教科書: ストシリ	微分積分 I 【第2版】 ーズ)【森北出版】	- シリーズ)【森北! f (ドリルと演習>	出版】 問題集:微分積分 I 問題集[第2版](高専テ: シリーズ)【電気書院】						
担当教員	1	相場 大佑									
到達目	標										
(2) 1変数 また,極 (3) 極限 ※ モデ	数関数の極M 限・微分・積 と・微分・積 デルコアカリ	艮・微分・積分 漬分の基本的詞 分の基本的な	を習得することを目な計算ができる. 分の意味を理解してい 計算ができる. 計算技法をもとに, / まれる到達目標を含	いる. 応用問題(例えば図	形の面積や体積)		ができる	i.			
<u>ルーブ</u>	`リック		1		_						
			理想的な到達レ/		標準的な到達レ			未到達レベルの目安			
評価項目	1		等差数列や等比数 解くことができる	数列の応用問題を る	等差数列や等比 とめることがで	数列の一般 きる。	項をも	等差数列や等比数列の一般項を求 めることができない			
評価項目	12		関数の微分を応見を調べたりグラフ きる	関数の微分を応用し、関数の増減 を調べたりグラフを描くことがで きる		微分について理解し、関数の微分 ができる		関数の微分ができない			
評価項目	∃ 3			用し、図形の面積 求めることができ	積分について理 積分、定積分が	解し、関数できる	の不定	関数の積分ができない			
学科の	到達目標	項目との関	係								
学習・教	放育到達度目	標 RB1									
教育方	法等										
概要	·-··-	数列と13	変数関数の極限・微な	 分・積分を学習す	 る。						
1545年				基礎的な概念と基本的な計算技法を習得する。							
授業の進	₤め方・方法	概念の導	入には具体的かつ直感的に理解しやすい例を利用し,適宜グラフ電卓や関数グラフの描画ソフトウェアなどを 解を助ける.また問題演習や小テストを通じて概念の定着と計算技法の習熟をはかる.								
注意点		試験の成 1. 授業 2. 課題 3. 課題	(学習内容の順序を変更する場合がある) 試験の成績により再試験を実施する場合がある。ただし受験資格として,次の4つを満たしていることを条件とする。 1. 授業中、演習問題に真面目に取り組む。(授業中の演習問題も課題の1つである) 2. 課題の内容がいい加減ではない。 3. 課題を全て提出している。 4. formsで受験するかしないかの意思を示す。								
授業の	屋性•履			ということ思いている	•						
	<u>//両 圧 ・//返</u> ティブラー:		□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応			 □ 実務経験のある教員による授業			
	<u> </u>				□ 逐附技未刈	U		大物柱線ののお教員による技術			
+¤ ** =+	· 										
授業計	<u> </u>	\m	₩ .			\H="\0.7					
		週	授業内容			週ごとの至					
		1週	ガイダンス・数列・	jイダンス・数列・等差数列		数列こその一般項 ている		・等差数列とその和について理解し			
		2週	等比数列		等比数列について3			理解している			
			いろいろな数列の利				総和の記号について理解し、公式から和を対				
	1stQ		数列の極限				数列の収束と発散を理解している				
			級数とその和			級数の和を求められる					
		6週	数列の漸化式・数学	学的帰納法		数列の漸ん					
				関数の収束と発散・関数の連続性				を理解している			
		8週	平均変化率と微分係数			平均変化率、微分係数を理解している					
前期	2ndQ	9週	前期中間試験								
		10週	· 享関数			中間試験の返却・解説 導関数の定義を理解し、多項式の微分ができる 接線方程式を求めることができる					
		11週	導関数の符号と関数	製数の符号と関数の増減			関数の増減・極値を調べ、グラフの概形を描くことが できる				
		12週	関数の最大値・最小	関数の最大値・最小値			いろいろな関数の導関数を求めることができる				
		13週	分数関数と無理関数の導関数			無理関数、分数関数の導関数を求めることができる					
		14週	関数の積と商の導関	数の積と商の導関数 成関数と逆関数の微分法(1)			関数の積・商の導関数、合成関数の導関数を求めることができる				
			ロル国奴とと国奴の)微分法(1)		とかできる					
			学習のまとめ	D微分法(1) 		とかできる					
		15週		D微分法(1) 		2 <i>m</i> cea					

		2週		関数の導関数			指数関数、対数関数の導	重関数を	を求められる	<u> </u>
				指数関数の導関数 三角関数の導関数 逆三角関数の導関数			三角関数、逆三角関数の導関数を求められる			
ı		4週		直の定理と関			不定形の極限、ロピタルの定理を理解して極限を求め			極限を求め
				**************************************			られる			
ı		5週			号と関数の凸凹 		ができる いろいろな変化率の問題を解くことができる			
		6週		微分と近似 いろいろな変化率			近似を理解している			
1		7週	不定				積分と微分の関係を理解している			
		8週	後期中	中間試験						
		9週	不定和	責分の置換積が	分法		中間試験の返却・解説 不定積分の置換積分を求めることができる			
1	11週 定定		不定和	下定積分の部分積分法			不定積分の部分積分を求めることができる			
			定積分定積分の拡張とその性質				定積分の計算ができる 定積分を用いて、曲線と時期が囲む図形の面積を求めることができる			面積を求め
1			定積分	・ 情分の置換積分法		定積分の置換積分を求め	りること	レができる		
ı	4thQ	13週	定積分の部分積分いろいろな関数の定			定積分の部分積分を求めるこ 偶関数・奇関数の定積分、三 解している		りること	ことができる	
ı		14週			曲線によって囲まれる図形 漬・体積 他) 線上を動く点の速度と位置 る		図形の回位置の関	面積、立体の 関係を求める	体積 、数直ことができ	
		15週	学習(のまとめ						
		16週	後期期	期末試験						
モデルコ	アカリキ	ユラムの	_)学習	内容と到達						
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標	<u> </u>			 到達レベル	授業週
7277		7322		3 3			和を求めることができる。		3	前1,前2
					総和記号を用いた簡単な数列の和を求めることができる。			3	前3,前4	
					不定形を含むいろいろな数列の極限を求めることができる。			<u>3</u> 3	前4	
					無限等比級数等の簡単な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。			+ 4	3	前5
					簡単な場合について、関数の極限を求めることができる。				 3	前7
					御分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求めることができる。		マレ	3	前8,前10	
	〕 数学 数学				積・商の導関数の公式を用いて、導関数を求めることがができる		きる	3	前10,前 13,前14	
					合成関数の導関数を求めることができる。			3	後1	
					三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求めることができる。			3	後2.後3	
				数学	逆三角関数を理解し、逆三角関数の導関数を求めることができる。		+ 7	3 3	後1	
基礎的能力					。 関数の増減表を書いて、極値を求め、グラフの概形をかくことが			L +3°	3	前11
				XX-J-	できる。 極値を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。					
								+ 7	3	前12
					簡単な場合について、関数の接線の方程式を求めることができる。			さる	3	前10
					2次の導関数を利用して、グラフの凹凸を調べることができる。			5.	3	後5
									-	
	1	I				解し、簡単な不	定積分を求めることがで:	きるし	-	
					个足慣力の足我では	関目、簡単な不知 	定積分を求めることができ	きる	3	後7
					0		定積分を求めることがでま 不定積分や定積分を求める。	7 7	3	後9,後 10,後12,後 13
					。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。	計積分を用いて、 ⁷ 動分の基本定理を	不定積分や定積分を求めて理解し、簡単な定積分を定	ること		後9,後 10,後12,後
					。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ	計 情分を用いて、 ² 情分の基本定理を な・三角関数・指 にとができる。	不定積分や定積分を求める 理解し、簡単な定積分を定数関数・対数関数の不定を	るこ 求め 積分	3	後9,後 10,後12,後 13
					。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ	計 情分を用いて、 ² 情分の基本定理を な・三角関数・指 にとができる。	不定積分や定積分を求めて理解し、簡単な定積分を定	るこ 求め 積分	3	後9,後 10,後12,後 13 後11
評価割合					。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ 簡単な場合について	計 情分を用いて、 ² 情分の基本定理を な・三角関数・指 にとができる。	不定積分や定積分を求める 理解し、簡単な定積分を定数関数・対数関数の不定を	るこ 求め 積分	3 3	後9,後 10,後12,後 13 後11 後13
評価割合			試	験	。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ 簡単な場合について	計 情分を用いて、 ² 情分の基本定理を な・三角関数・指 にとができる。	不定積分や定積分を求める 理解し、簡単な定積分を定数関数・対数関数の不定を	るこ 求め 積分 求め	3 3	後9,後 10,後12,後 13 後11 後13
評価割合総合評価割			試 80		。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ 簡単な場合について	計積分を用いて、 漬分の基本定理を な・三角関数・指 とができる。 、曲線で囲まれ	不定積分や定積分を求め、 理解し、簡単な定積分を: 数関数・対数関数の不定に た図形の面積を定積分で:	るこ 求め 積分 求め	3 3	後9,後 10,後12,後 13 後11 後13
	合		-)	。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ 簡単な場合について	計積分を用いて、 動分の基本定理を 対・三角関数・指摘 とができる。 、曲線で囲まれた 課題	不定積分や定積分を求め、 理解し、簡単な定積分を認 数関数・対数関数の不定認 た図形の面積を定積分でに 合計	るこ 求め 積分 求め	3 3	後9,後 10,後12,後 13 後11 後13
総合評価割	合		80)	。 置換積分および部分とができる。 定積分の定義と微積ることができる。 分数関数・無理関数・定積分を求めるこ 簡単な場合について	計積分を用いて、2 動分の基本定理を3 数・三角関数・指記とができる。 こ、曲線で囲まれた 課題 20	不定積分や定積分を求め、 理解し、簡単な定積分を認 数関数・対数関数の不定認 た図形の面積を定積分で認 合計 100	るこ 求め 積分 求め	3 3	後9,後 10,後12,後 13 後11 後13